舞鶴市議会 福祉健康委員会 活動報告

- > 愛知県蒲郡市における取組の調査
- > 埼玉県坂戸市における取組の調査
- ★ 千葉県市原市における取組の調査

視察の目的

誰もがいつまでも健康で生きがいを持って生活できるよう、働き盛り世代をはじめとする各世代の「健康寿命の延伸」を支援するべく、実効性のある先進的な取組を推進している事例を調査し、新たな視点を得るため視察を行った。

これまでの様々な調査研究結果や今回の視察を踏まえ、より 効果的な市への提言につなげていく。

「福祉健康委員会の令和5年の重点事項]

- (1) 生活習慣改善の推進に関する調査・研究
- (2) 介護予防の推進に関する調査・研究

舞鶴市議会のホームページに視察報告書を 掲載していますので、ご覧ください。



視察先及び日程

日	程	視察先	調査事項
令和5年5月17日(水)	10時30分~12時00分	愛知県蒲郡市	生活習慣改善の取組について
令和5年5月18日(木)	10時00分~11時30分	埼玉県坂戸市	食を通じた健康づくりについて
令和5年5月19日(金)	9時30分~11時00分	千葉県市原市	産官学の連携によるフレイル予防について

【愛知県蒲郡市】調査事項:生活習慣改善の取組について

≪蒲郡市の取組の概要≫

- ◇ 市役所全体で健康づくりを考えるべく、庁内27課、43名の職員で構成した「健康化政策全庁的推進プロジェクト」が設置されていた。
- ◇ 体重測定・朝ごはん・ラジオ体操など、誰もが取り組みやすい健康づくり を100日間チャレンジする事業が展開されていた。
- ◇ 市内の温泉宿で、身体・血糖測定、ウオーキング等の運動、ヘルシーランチなどの健康づくりに取り組む、宿泊型保健指導が行なわれていた。



蒲郡市職員から説明を受ける

≪委員の所感≫

内容や実施期間を誰もが取り組み やすいものにされていることから、 健康づくりへの「やらねばならない」

「続けるのはしんどい」といった意識を、「気軽にチャレンジできる」「継続できる」という意識へと変化させている。

- 職員間でグループワークを行い、出た意見を自ら検証した結果を もとに「100日チャレンジ」が事業化されているため、市民への啓 発に説得力がある。
- ② 全庁を挙げて、健康を「我が事」として捉え、取り組むことが重要であると感じた。



【埼玉県坂戸市】調査事項:食を通じた健康づくりについて

≪坂戸市の取組の概要≫

- ◇ 動脈硬化の予防に効果があるとされる「葉酸」に着目し、産官学 の連携のもと、「葉酸プロジェクト」を展開されていた。
- ◇ 参加者の遺伝子型や身体の状況を分析し、個々の状況に応じた栄養指導を行う「食と健康のプランニングセミナー」が行なわれていた。
- ◇ 公募市民による「市民みんなの健康づくりサポーター『元気にし 隊』」が結成され、市の事業へ積極的に協力されていた。



坂戸市職員から説明を受ける

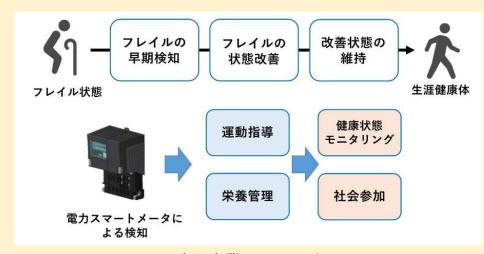
≪委員の所感≫

- 食を通じて健康寿命を延ばすという取組について、地域の飲食店 も自発的に参加され、まちぐるみでの取組になっていることなどが 参考になった。
- 専門的知見を持った方の参入・そして科学的根拠のある事業は非常に大事だと感じた。
- 食育推進計画があり、健康づくりと一体となって市の事業として 展開されていることが、舞鶴市とは大きな違い。

【千葉県市原市】調査事項:産官学の連携によるフレイル予防について

≪市原市の取組の概要≫

- ◇ 産官学7者間で連携協定を締結され、フレイル検知から予防・ 改善、改善後の状態維持までを一気通貫するサービスの構築を目 指し、実証事業を行われていた。
- ◇ 市民ボランティアによる「フレイルサポーター」の協力のもと、 東京大学高齢社会総合研究機構が開発した「フレイルチェック」 を実施されていた。



実証事業のイメージ



市原市職員から説明を受ける

≪委員の所感≫

- 最先端な取組でありチャレンジ精神がないとできないと感じた。 フレイルの考え方自体歴史が浅く、「待ち」の姿勢ではこうした取 組は難しくなるため、参考にすべきである。
- フレイル予防の事業拡大において、フレイルサポーターの存在は 大きく、自らがやる気を持って取り組み、その熱を伝えていく事が 大切と感じた。
- D 健康には個人の生活習慣だけでなく、人々を取り巻く社会環境が 関与しているため、健康を支え守る社会環境の面からも健康を捉え る必要があることを認識した。